



齊藤總督の 實業家招待

齊藤總督は、東京に於て、實業家招待會を開き、實業家の代表者と懇談した。齊藤總督は、實業家の代表者と懇談した。齊藤總督は、實業家の代表者と懇談した。

内地人の慶殺

内地人の慶殺、吉林督軍に逮捕さる。内地人の慶殺、吉林督軍に逮捕さる。内地人の慶殺、吉林督軍に逮捕さる。

鐵道敷設法改正

鐵道敷設法改正、補給給額の引上。鐵道敷設法改正、補給給額の引上。鐵道敷設法改正、補給給額の引上。

飢饉借款成立せん

飢饉借款成立せん、其時期は舊曆歲末か。飢饉借款成立せん、其時期は舊曆歲末か。飢饉借款成立せん、其時期は舊曆歲末か。

豫算内示

豫算内示、二十三日か。豫算内示、二十三日か。豫算内示、二十三日か。

各派交渉會

各派交渉會、二十四日開會。各派交渉會、二十四日開會。各派交渉會、二十四日開會。

時事小感

時事小感、三感生。時事小感、三感生。時事小感、三感生。

東部西伯利の 土着民族

東部西伯利の土着民族、鳥居龍藏氏。東部西伯利の土着民族、鳥居龍藏氏。東部西伯利の土着民族、鳥居龍藏氏。

一年卒業業きて實業講習録

學校に通學出來ぬ人の爲に通信教授。一年卒業業きて實業講習録。學校に通學出來ぬ人の爲に通信教授。

講習科目	講習科目	講習科目	講習科目
簿記	簿記	簿記	簿記
簿記	簿記	簿記	簿記
簿記	簿記	簿記	簿記

大島紳見本進呈

大島紳見本進呈、支拂廿六日限。大島紳見本進呈、支拂廿六日限。大島紳見本進呈、支拂廿六日限。

中學生 新年特別號

中學生 新年特別號、お菓子進上大福引。中學生 新年特別號、お菓子進上大福引。中學生 新年特別號、お菓子進上大福引。

女學生 新年特別號

女學生 新年特別號、魔法の森組立雙六。女學生 新年特別號、魔法の森組立雙六。女學生 新年特別號、魔法の森組立雙六。

天氣豫報

正月を控へて

生活改善の一方法
新聞の活用と新年回禮局限

◆新年でも公共の事に就いて
思ふべきことは、新年の初めに
思ふべきことは、新年の初めに
思ふべきことは、新年の初めに

米穀搬出漸増

米穀搬出漸増
米穀搬出漸増
米穀搬出漸増

客月大邱貿易

客月大邱貿易
客月大邱貿易
客月大邱貿易

五十億の

五十億の
五十億の
五十億の

騰造紙幣

騰造紙幣
騰造紙幣
騰造紙幣

一般に注意せよ

一般に注意せよ
一般に注意せよ
一般に注意せよ

安東持越材料

安東持越材料
安東持越材料
安東持越材料

合併後の成績

合併後の成績
合併後の成績
合併後の成績

豫金増加

豫金増加
豫金増加
豫金増加

暮の餅

暮の餅
暮の餅
暮の餅

仁川では

仁川では
仁川では
仁川では

三十二銭

三十二銭
三十二銭
三十二銭

急に寒くなる

急に寒くなる
急に寒くなる
急に寒くなる

川仁

川仁
川仁
川仁

組合

組合
組合
組合

買

買
買
買

格

格
格
格

引

引
引
引

商

商
商
商

合

合
合
合

演藝案内

演藝案内
演藝案内
演藝案内

大正館

大正館
大正館
大正館

元祿女

元祿女
元祿女
元祿女

金銀館

金銀館
金銀館
金銀館

浪花館

浪花館
浪花館
浪花館

登記公告

登記公告
登記公告
登記公告

海州地方

海州地方
海州地方
海州地方

浪花館

浪花館
浪花館
浪花館

浪花館

浪花館
浪花館
浪花館

浪花館

浪花館
浪花館
浪花館

浪花館

浪花館
浪花館
浪花館

浪花館

浪花館
浪花館
浪花館

浪花館

浪花館
浪花館
浪花館

浪花館

浪花館
浪花館
浪花館

浪花館

浪花館
浪花館
浪花館

浪花館

浪花館
浪花館
浪花館

浪花館

浪花館
浪花館
浪花館

浪花館

浪花館
浪花館
浪花館

浪花館

浪花館
浪花館
浪花館

浪花館

浪花館
浪花館
浪花館

浪花館

浪花館
浪花館
浪花館

浪花館

浪花館
浪花館
浪花館

浪花館

浪花館
浪花館
浪花館

浪花館

浪花館
浪花館
浪花館

浪花館

浪花館
浪花館
浪花館

浪花館

浪花館
浪花館
浪花館

京日案内

京日案内
京日案内
京日案内

餅職人至急入用

餅職人至急入用
餅職人至急入用
餅職人至急入用

餅職人至急入用

餅職人至急入用
餅職人至急入用
餅職人至急入用

餅職人至急入用

餅職人至急入用
餅職人至急入用
餅職人至急入用

餅職人至急入用

餅職人至急入用
餅職人至急入用
餅職人至急入用

餅職人至急入用

餅職人至急入用
餅職人至急入用
餅職人至急入用

餅職人至急入用

餅職人至急入用
餅職人至急入用
餅職人至急入用

餅職人至急入用

餅職人至急入用
餅職人至急入用
餅職人至急入用

餅職人至急入用

餅職人至急入用
餅職人至急入用
餅職人至急入用

餅職人至急入用

餅職人至急入用
餅職人至急入用
餅職人至急入用

餅職人至急入用

餅職人至急入用
餅職人至急入用
餅職人至急入用

餅職人至急入用

餅職人至急入用
餅職人至急入用
餅職人至急入用

餅職人至急入用

餅職人至急入用
餅職人至急入用
餅職人至急入用

餅職人至急入用

餅職人至急入用
餅職人至急入用
餅職人至急入用

餅職人至急入用

餅職人至急入用
餅職人至急入用
餅職人至急入用

餅職人至急入用

餅職人至急入用
餅職人至急入用
餅職人至急入用

餅職人至急入用

餅職人至急入用
餅職人至急入用
餅職人至急入用

餅職人至急入用

餅職人至急入用
餅職人至急入用
餅職人至急入用

餅職人至急入用

餅職人至急入用
餅職人至急入用
餅職人至急入用

餅職人至急入用

餅職人至急入用
餅職人至急入用
餅職人至急入用

餅職人至急入用

餅職人至急入用
餅職人至急入用
餅職人至急入用

餅職人至急入用

餅職人至急入用
餅職人至急入用
餅職人至急入用

餅職人至急入用

餅職人至急入用
餅職人至急入用
餅職人至急入用

餅職人至急入用

餅職人至急入用
餅職人至急入用
餅職人至急入用

餅職人至急入用

餅職人至急入用
餅職人至急入用
餅職人至急入用

餅職人至急入用

餅職人至急入用
餅職人至急入用
餅職人至急入用

月賦貸出
1円から
利息なし
返済簡単

餅職人至急入用
餅職人至急入用
餅職人至急入用

餅職人至急入用
餅職人至急入用
餅職人至急入用

餅職人至急入用
餅職人至急入用
餅職人至急入用

餅職人至急入用
餅職人至急入用
餅職人至急入用

餅職人至急入用
餅職人至急入用
餅職人至急入用

餅職人至急入用
餅職人至急入用
餅職人至急入用

餅職人至急入用
餅職人至急入用
餅職人至急入用

餅職人至急入用
餅職人至急入用
餅職人至急入用

餅職人至急入用
餅職人至急入用
餅職人至急入用

餅職人至急入用
餅職人至急入用
餅職人至急入用

餅職人至急入用
餅職人至急入用
餅職人至急入用

餅職人至急入用
餅職人至急入用
餅職人至急入用

餅職人至急入用
餅職人至急入用
餅職人至急入用

餅職人至急入用
餅職人至急入用
餅職人至急入用

餅職人至急入用
餅職人至急入用
餅職人至急入用

餅職人至急入用
餅職人至急入用
餅職人至急入用

餅職人至急入用
餅職人至急入用
餅職人至急入用

餅職人至急入用
餅職人至急入用
餅職人至急入用

餅職人至急入用
餅職人至急入用
餅職人至急入用

餅職人至急入用
餅職人至急入用
餅職人至急入用

餅職人至急入用
餅職人至急入用
餅職人至急入用

餅職人至急入用
餅職人至急入用
餅職人至急入用

餅職人至急入用
餅職人至急入用
餅職人至急入用

餅職人至急入用
餅職人至急入用
餅職人至急入用

餅職人至急入用
餅職人至急入用
餅職人至急入用

田中醤油
上質の醤油
味が濃厚
使い易い

進物用
金銀器
時計
文房具

整腸常備薬
ラクトールゼ
腸を健康に保つ
便秘を予防

LACTO-STASE
整腸常備薬
ラクトールゼ
腸を健康に保つ

東拓と殖民事業

移民収容の現状

各移民地視察概要

東拓局は、移民収容の現状を視察するため、各移民地に出発した。視察の結果、各移民地の収容状況は、概して良好である。特に、移民の生活環境は、徐々に改善されつつある。また、移民の職業訓練も、積極的に進められている。しかし、一部の移民地では、収容施設の不足や、生活物資の不足などの問題が指摘されている。東拓局は、これらの問題を解決するため、積極的に対策を講じていく方針である。

瓦斯の使用量

年末の増減はない

使ひ方に依つては経済的だ

山内營業課長談

瓦斯の使用量は、年末の増減はない。これは、使ひ方に依つては経済的だ。山内營業課長は、このように述べている。瓦斯の使用量は、昨年度と比べて、ほぼ同じである。これは、使ひ方に依つては経済的だ。山内營業課長は、このように述べている。

粒の悪い内地

人が鮮農を虐める事

東拓所有地全部に移民を収容す

東拓局は、東拓所有地全部に移民を収容する方針である。これは、東拓局の政策の一つである。東拓局は、東拓所有地全部に移民を収容する方針である。これは、東拓局の政策の一つである。

牛乳鑑別法

牛乳鑑別法

牛乳鑑別法は、牛乳の品質を鑑別する方法である。牛乳鑑別法は、牛乳の品質を鑑別する方法である。牛乳鑑別法は、牛乳の品質を鑑別する方法である。

眼も暈る忙し

年末の電話事務

電話事務は、年末になると非常に忙しになる。電話事務は、年末になると非常に忙しになる。電話事務は、年末になると非常に忙しになる。

みみ子の戀

涙で綴る身の上話

みみ子の戀は、涙で綴る身の上話である。みみ子の戀は、涙で綴る身の上話である。みみ子の戀は、涙で綴る身の上話である。

大黒天の像は

高麗から日本へ

大黒天の像は、高麗から日本へ運ばれた。大黒天の像は、高麗から日本へ運ばれた。大黒天の像は、高麗から日本へ運ばれた。

値下げした

金筋の注意

値下げした金筋の注意。値下げした金筋の注意。値下げした金筋の注意。

困った狂人

狂人の生活

困った狂人の生活。困った狂人の生活。困った狂人の生活。

工開金運船

工開金運船

工開金運船の運送。工開金運船の運送。工開金運船の運送。

御早大

御早大

御早大の活動。御早大の活動。御早大の活動。

御早大

御早大

御早大の活動。御早大の活動。御早大の活動。

大勉強

大勉強

大勉強の活動。大勉強の活動。大勉強の活動。

大勉強

大勉強

大勉強の活動。大勉強の活動。大勉強の活動。

直ぐ死ぬ

直ぐ死ぬ

直ぐ死ぬの活動。直ぐ死ぬの活動。直ぐ死ぬの活動。

直ぐ死ぬ

直ぐ死ぬ

直ぐ死ぬの活動。直ぐ死ぬの活動。直ぐ死ぬの活動。

上坂大隊 近と凱旋せん

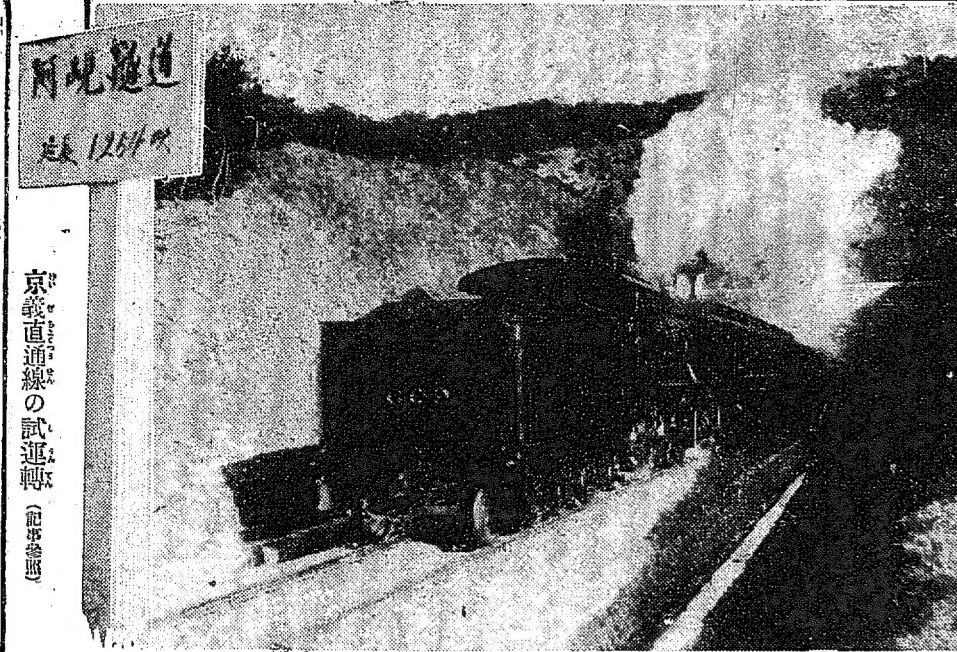
凱旋後七年は除隊 龍山では歓迎準備

龍山に凱旋する上坂大隊は、凱旋後七年は除隊し、龍山では歓迎準備が整っている。上坂大隊は、龍山に凱旋するにあたり、凱旋後七年は除隊し、龍山では歓迎準備が整っている。上坂大隊は、龍山に凱旋するにあたり、凱旋後七年は除隊し、龍山では歓迎準備が整っている。

南大門城山里間の 直通線竣工す

空外の眺望も佳い 十六日試運転開始

南大門城山里間の直通線が竣工し、十六日試運転開始。空外の眺望も佳い。南大門城山里間の直通線が竣工し、十六日試運転開始。空外の眺望も佳い。



京義直通線の試運転 (記事参照)

裁判長をして 法廷の花一輪

丁重な口を利かした 裁判長は感無量の體で

裁判長をして法廷の花一輪。丁重な口を利かした。裁判長は感無量の體で。裁判長をして法廷の花一輪。丁重な口を利かした。裁判長は感無量の體で。

普合團の正體は 平北を根拠として

元大韓青年決死隊 兇暴慘虐の振舞

普合團の正體は平北を根拠として。元大韓青年決死隊。兇暴慘虐の振舞。普合團の正體は平北を根拠として。元大韓青年決死隊。兇暴慘虐の振舞。

美術思想を 朝鮮に普及したい

三都大美術展覧會に就て 東村日出男

美術思想を朝鮮に普及したい。三都大美術展覧會に就て。東村日出男。美術思想を朝鮮に普及したい。三都大美術展覧會に就て。東村日出男。

嫁様の未成品 二人を残して警察へ 引張られた男

天幕、前科二犯を有する 其の妻は、引張られた男

嫁様の未成品。二人を残して警察へ引張られた男。天幕、前科二犯を有する。其の妻は、引張られた男。嫁様の未成品。二人を残して警察へ引張られた男。天幕、前科二犯を有する。其の妻は、引張られた男。

美酒家 酒をガブ飲み 冷酒をガブ飲み

二十分間以内 知人の宅を泊る

美酒家。酒をガブ飲み。冷酒をガブ飲み。二十分間以内。知人の宅を泊る。美酒家。酒をガブ飲み。冷酒をガブ飲み。二十分間以内。知人の宅を泊る。

三都傑作畫展觀會 時日十九、二十兩日(午後五時より)

出品 點數約三百、即賣の需に應ず 主催 帝國美術協會 後援 京城日報社

三都傑作畫展觀會。時日十九、二十兩日(午後五時より)。出品 點數約三百、即賣の需に應ず。主催 帝國美術協會。後援 京城日報社。三都傑作畫展觀會。時日十九、二十兩日(午後五時より)。出品 點數約三百、即賣の需に應ず。主催 帝國美術協會。後援 京城日報社。



三都傑作畫展觀會の会場

年末賞與。陸軍と海軍の賞與。年末賞與。陸軍と海軍の賞與。年末賞與。陸軍と海軍の賞與。

年末の警戒。小風泥や撥。年末の警戒。小風泥や撥。年末の警戒。小風泥や撥。

折鶴。伊東深木。折鶴。伊東深木。折鶴。伊東深木。

講談新報

新年號

妖婦の戀

悪魔の戀

折鶴

伊東深木

妖婦の戀

悪魔の戀

折鶴

伊東深木

トマ

裁縫入念のマンダリン

特長

一年百萬圓

天下の名酒

白鶴

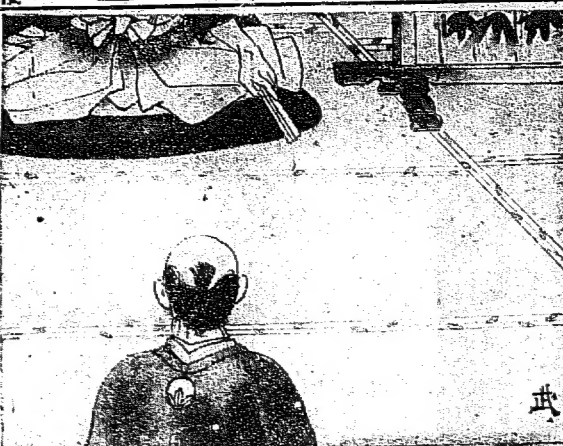
元賣發

店商屋田増

慶安太平記

第四十五席

小糸井河洲講演



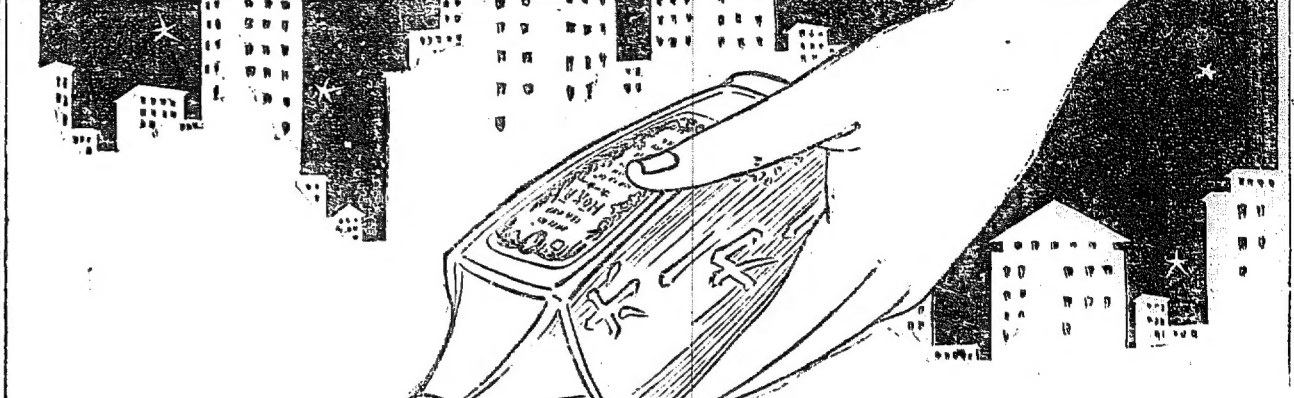
Text block for the lecture, starting with 'ワッ其所へ来る'.

Large vertical advertisement for '歳暮大賣出し' (Year-end sale) with '垂屋' (Kakeya) logo.

Text block mentioning '村上海店' (Murakami High Store).

Table with multiple columns and rows, likely a schedule or list.

Text block on the right side of the table.



東京で一等

賣れ行きのよい化粧料は?

それは言ふまでもなく吾がホーカール液である!!

何故? 容量が豊富であるから 文明人向きであるから

初冬の肌アレを防ぎ美人となる

ホーカール液

家庭向として

御歳暮の贈答品として

体裁の優美 持参に便利 万人に必要 費つて重寶

全國 卸る處の化粧品店 薬店小問物店雜貨店 洋品店等 あり 若し 萬一 品切の節は 振替又は 三錢切手 代用 直接本舖へ 御注文下さい 定小 大 圓 拾五 圓 中 五 拾 八 圓 送料 内地 六 錢 洋 鮮 四 拾 錢

堀越嘉太郎商店 電話 神田一四三二四四一四五 振替 口座東京一五六

Advertisement for '佛蘭西土產 金鷄香水' (French product, Golden Rooster Perfume) with an illustration of a rooster.

[illegible]

德田秋聲
(挿話)近隣紫雲
第二十二回

[illegible]

「御免なさい。」
三人は順やくぐく廊下を渡つて
絢子の居間へ入つた。また話
し足りないやうにしてゐるお菊
は、仰めなうにてゐる「では早く
またお邪魔しまして頂きますわ
い、言ひながら、後から尾いて入
つて行つた。」
屋敷より會社へ出た後なの
で、居間はひびりてゐた。
きんと片付けられて、掃除の
行つた八疊の目黒にて、此輩
も潮の目が輝き出す當つてゐ
た。真子は母親に朝のおやつを
貰ふと、直ぐ手を挽つて廊下
へ出て行つた。
「子供が卵がなくて可愛ごさん
すね」お菊は後身着たながら
「でもあなたのお子さんが
おありだから、お樂なすね」
それだけで、ごんやに御幸福
ないますか」

は傍から些いふやうなもの
はありせんすからね。で
私のようなものとしては、こ
ろ不足を言ふところではござ
ません。絢子は腹中すや降ら
るの返辭をして、「失禮ですが
あなたはお見知り？」

きれいな葉菓子
箱詰組
明治四
電元七〇 木村

「二人もなほいさいますか」
何ですか兄が人あるさか、
さか聞いたさきはあるんです
さ、それもうさか以前の話で
てね唯今母に尋ねて、一晩
こした返辭はあないんです
「あらまあ、さやかか。そ
きはまあ、さ、絢子はつい引入
れるやうな氣になつて、
は何ですわね、あなたがお宅
にでするんではおかつたので
ないですか」

女 ○ 京 華
 川柳 創作花道
 日休に萬年紙を持てゐる
 果ては「創作」を思ひ起し
 けしからぬ度谷谷ものな顔
 直金に汚がらふるまの筆
 ししくこいやとまを筆端に


し、私のようなものに、こうした人が、様子に來てくれる。氣遣いは、さういふもので、すね。ですから、あのう、自然な、結婚期も過ぎてしまつて、此年になるまで、獨身でゐました。

「まあ、然うです。」物子は、其の如く、其の色づき、口を眺め、淋しげに笑つた。

小町金創に、いふやうに、愛した人一人に、惜しいやうに、美男美女夫婦になつてゐる無し、女の手捌つた姿を、作者書き、顔に、負ける腰、着してあき

婦人タオル諸君、手帳に、
京都若岸町四〇
南上月商店
電話一〇三三
獨逸東京三三三

「どうせもう、私は對ののために
裸身で通か、こんな寒風に落
ちることに出来たものぞでせう」
から、それであつて斷つてをりま
すけどね。矢張り、あのう

後

『愚平さまはさういふ
沙汰いたしました』と
あのがいゝ敵も
やつと終へて、明日

つつかしい星の地ミの京に

[illegible][illegible]

「送られ行くのであつた。彼女は、
の嫌がらぬ、何ぞなく哀れにも思
へて来た。」

「でも、私なんかの垢泥は取る
に足らないんですわ。お聴か
しの上で……」

「よし、あなた」ミコ子は一瞬も
待たずに立ち上り、門外に出る。

心からうつつた。
お須磨に暫くしてから『君が願ひさうな御がいたしたまふ』
彼女の眼は意味ありけに輝いた。
お須磨はまたお須磨に願ひさうな御がいたしたまふ。

六華

いにはるに

(一) 湖底 同局
二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九 二十 二十一 二十二 二十三 二十四 二十五 二十六 二十七 二十八 二十九 三十 三十一 三十二 三十三 三十四 三十五 三十六 三十七 三十八 三十九 四十 四十一 四十二 四十三 四十四 四十五 四十六 四十七 四十八 四十九 五十 五十一 五十二 五十三 五十四 五十五 五十六 五十七 五十八 五十九 六十 六十一 六十二 六十三 六十四 六十五 六十六 六十七 六十八 六十九 七十 七十一 七十二 七十三 七十四 七十五 七十六 七十七 七十八 七十九 八十 八十一 八十二 八十三 八十四 八十五 八十六 八十七 八十八 八十九 九十 九十一 九十二 九十三 九十四 九十五 九十六 九十七 九十八 九十九 一百

先手先
一 敵
湖小
尾杉
浩江

外向けに。
下へかぬ癖人。

[illegible][illegible]

女の大事件

おそろしい子宮病

かあいらしい子寶

打發て
置けぬ
子宮痛

婦人科の原因は、いろいろ消えないうつりから三
多いのはありますが、このヒステリアスでは我儘
子宮痛の多くは精神的原因にしろ手管がさうはないと
よく言ひ聞かれます。そしてこれにてそれが子宮病の原因
であることは疑いなくしてゐるであらう。

さて此處今最初は少々是とは知らず、一切根柢治す
として一服々かに云ふのが最善であると申します。退すも嫌
かしこ、醫師に診て貰ふのも厭い次第であります。

だ、我々の出来るだけ親切へ誰でも
て居られますが、梅毒は少しの
用捨もなくズンズン進んで、
部の諸機關を侵し、遂に加害
に及ぶを起してそれの
に及ぶの恐れありと、(白濁で起る)

皆さん、千賀の
は病氣の爲です
シナに神佛に祈
ても癒えるもの
で、せせん隨つて病氣が身寄

下「がたがた」に「なりす」これ「現代の日本人はドウしたも合理的衛生知識を求め」

を「知り」ゆくふ「子」宮が「肥」

「お」い「か」ら

千原資利

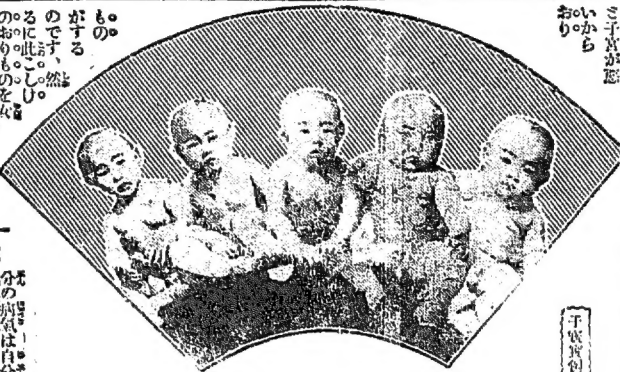


もの
する
の
です、然
に吐き
のりもを
の持腹だ
してゐる
内に此の
が原因で
あります
彼の方法
を講ずる
のが



分の病氣は自分で
治す方法を講ずる
のが

を對するところの體格も強くなり、
そののみならず、
にコヂレて、子宮内（内外胎）
巢、胎盤等々の疾患の爲に色々な
血毒ものが多く世に出る。こ
れより、時に胎盤のやうな排出物
となり、時には肉片が這つて出
るやうになると、それとぞ入
り、血の道へ、
産後、產卵後の婦人子
來るべき、理應して、思
一代の衛生關して、思

[illegible][illegible][illegible]

(3) (4) (3) (3) (1)

生、もの、子、最、め、も、ア、二、な、各、方、自、米、衛、一、す、き、厘、推、で、

つちや大に

石炭販賣 開始廣告

鑛炭川通

▷ 長 特 炭 石 川 通 ◁

トコキ近ニ炭煙無トン殆クナ少煙油

普炭以ナ
通代テル
炊用汽車
事ト車街
用シ汽地
ニテ船ノ
使座用各
用敷ニ工
シ用適場
燃火ス風
燒鉢ル呂
後ニ事焚
カ用普焚
ンヒ通ス
テラ石ト
キル炭フ
ニルノ一
移事如用
シ燃キ家
惣燒惡庭
菜火臭炊
ヲ力ナ事
糞ハキ用
付尤ヲセ
ケモ以シ
其熾テテ
骸烈人至
ハナ家極
木ヲ密用

上

產本販同
地部所賣
京都元
城府山
城南春
江米門日
原倉通町
道二丁目
通〇九十二
川五番
郡番地
庫地地
底高越通
港山野川
通炭
炭主石鑛
鑛計炭出
張
方店所
電話一〇一五
電話二〇一五
番番番